

●学校の部屋

お問い合わせは教育委員会 ☎ 64・4343



▲地域の方へ“おにまん”を届ける児童たち

11月5日(月) 牧小学校の全校児童が、学校農園でサツマイモの収穫を行いました。近年、不作続きのサツマイモでしたが、今年は大豊作となりました。児童は、大きなサツマイモを掘り出し大喜びでした。

このサツマイモで、6年生保護者の協力のもと、“おにまん”をつくり、5・6年生が地域住民の方へおにまんを届けました。

その後、4・5年生がタマネギの苗やイチゴの苗植えを行いました。年間をとおして農園作業については、牧長寿会の皆様のご指導を受けて交流活動をしています。

サツマイモ収穫祭!! 牧小学校



▲クリーンマスターを目指して清掃活動に取り組む生徒たち

東安中学校後期生徒会では、「心の東安改革」とテーマを掲げ、合唱・学習・挨拶・清掃の4つの活動をおおし、学校生活の改善に取り組んでいます。

その一つである「後期クリーンマスター」が12月3日(月)から始まりました。

クリーンマスターは、単にピカピカに校舎を磨けばよいのではなく、清掃をとおして自己を見つめ、責任感や目的意識をしっかりと育てることを願っています。その姿が周りから認められたとき、初めてクリーンマスターとして認められます。

「東安中の伝統は、クリーンマスターです」と自身をもって言えるように、全校でがんばっています。

心も磨く清掃活動 東安中学校



▲温かい言葉遣いを学ぶ児童たち

12月13日(木) 結小学校体育館で児童集会が行われ、生活委員会が、困っている子に声をかける場面を劇にして発表しました。この劇をとおして、「ありがとう」、「だいじょうぶ」などの声をかけることの大切さを確かめることができました。

結小学校では年間をとおして、「相手の立場や気持ちを考えた言葉遣いや行動ができる」ことを大切に、日頃の教育活動を進めています。特に11月から12月にかけては、「人権週間」として様々な活動を行っています。学級では、お互いの心が温かくなる「ふわふわ言葉」を広めようと、友だちへの声かけの大切さを話し合ったり、自分たちの生活を振り返って約束を決めたりして、取り組みました。また、一人ひとりが「人権標語」を作り、校内に掲示しています。

「温かい言葉遣い」を学ぼう 結小学校



▲劇団員といっしょに熱演する児童

12月14日(金) 中央公民館大ホールで、第21回青少年劇場が行われました。青少年劇場は、子どもたちが一流の芸術に接することで、豊かな心と鑑賞力の育成を目的に、毎年開催されています。

今年度は「劇団民話芸術座」による「雨ふり小僧」を町内の小学4年生から中学2年生が鑑賞しました。

当日は、演劇の前に代表者がステージに上がって、劇団員といっしょに発声練習を行ったり、演劇に特別出演して子役を熱演しました。また、参加した子どもたちは、プロの演技を熱心に見入っていました。

芸術に触れて感性を磨く 青少年劇場